

2019年3月6日(水)

# 日刊工業新聞掲載

## 金属付き廃プラ粉砕

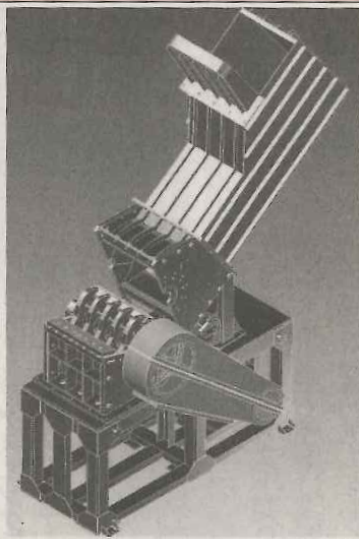
### 装置開発 分別手作業9割減

#### 日本シーム

細かく砕く粉砕機は  
破砕機とは異なり金属  
付き廃プラの投入が難

しく、手選別や手分解  
れる。刃も割れにくい  
に人手がかかるとされ  
材質とした。  
メガホエールで粉砕  
した後、水流型の比重  
選別機でプラと金属を  
分けるシステムを構築  
しており、比重選別機  
の新型開発も進めてい  
る。メガホエールは12  
日に開幕する「201  
9NEW環境展」で展  
示する。

【さいたま】日本シーム(埼玉県川口市、木口達也社長、048  
・298・7700)は、金属付きの廃プラスチックを投入できる  
粉砕機「メガホエール」を開発した。通常、廃家電や廃自動車の粉  
砕機は人による金属とプラスチックの細かい分別を必要とするが、  
人による作業を9割以上削減できる。中国などの廃プラの輸入禁止  
に伴い「国内での廃プラのマテリアルリサイクル化の必要性が急速  
に高まっている」(木口社長)という。



自動車や家電のリサイクルに出す。メガホエールは  
イクル業者向けに売り出す。メガホエールは

ドで、消費税抜き  
の価格は1200万円か  
ら。販売目標は年間30  
台。  
リサイクル業者向けに  
開発した粉砕機「メガ  
ホエール」(イメー  
ジ)。メンテナンス性  
に優れ、刃も割れにく  
い材質とした

## 成形限界線図、高精度評価

### JFEテクノ リサーチ

### ISO準拠試験サービス

JFEテクノリサーチ  
(東京都千代田区、  
山崎史社長、03・  
510・3400)

した測定法で行う受託  
サービスを開始した。同  
規格に準拠した試験・  
評価サービスの事業化  
は国内初。材料がプレ  
ス成形にどこまで対応  
するかを、高精度で評  
価できるという。  
プレス成形による割  
れを予測する手がかり  
となるFLDを作成す  
るための試験を、同規  
格に従って行う。鉄鋼  
やアルミニウムなどの  
金属材料が次第に変形  
し、破断に至るまでの  
様子を高速カメラで  
つぶさに撮影して、画  
像を解析することで歪  
み量(変形の程度)や  
分布を割り出す。画像